

2012 年度の主な動き

- 2012 年 4 月 ソウル事務所開設
- 2012 年 6 月 沖縄電力㈱殿から宮古第二発電所 5 号機増設工事（フルターンキー）を元請で受注
- 2012 年 6 月 シンガポールから船用新型エンジン 17AHX、4 台受注
- 2012 年 7 月 西アフリカ、パナマにサービス代理店設置
- 2012 年 9 月 東京汽船エコタグ向けエンジン受注
(6L26HLX+ZP-31CL+7L17AHX+推進モーター)
- 2012 年 9 月 本社が外神田に移転
- 2012 年 10 月 会社設立 10 周年記念パーティーを開催
- 2013 年 2 月 環境配慮型曳船用エンジン 6L28HX 出荷、3 月ハイブリッド推進システム搭載タグ
ボート就航
- 2013 年 3 月 STX（韓国）へバングラディッシュ向け新型ガスエンジン 28AGS を出荷



外神田 本社



新型ガスエンジン 28AGS



環境配慮型曳船『翼』、船体ロゴ (NIIGATA, Hybrid)

環境への取組みの経緯

2001年	2月	(株)新潟鐵工所 新潟内燃機工場第一回環境改善委員会 2003年新潟原動機発足後も活動を継続
2003年	10月	全部門 ISO9001 統合拡大審査認証取得
2004年	4月	全部門 ISO14001 拡大審査認証取得
2004年	10月	環境報告書創刊ワーキンググループ発足
2005年	4月	新潟地区廃棄物削減委員会発足
2006年	7月	環境報告書創刊
2006年	12月	省エネ委員会発足
2007年	7月	環境報告書第2号発行
2008年	4月	環境小委員会で各工場のゼロエミ活動について審議
2008年	7月	環境報告書第3号発行
2009年	3月	新潟ガスタービン工場でゼロエミッション達成
2009年	6月	改正省エネ法対応として環境対応組織を再編成して第1回環境管理会議を開催
2009年	7月	環境報告書第4号発行
2010年	3月	太田工場、新潟内燃機工場でゼロエミッション達成
2010年	7月	環境報告書第5号発行
2010年	10月	新潟原動機が特定事業者に、太田工場と新潟鑄造工場が第二種エネルギー管理 指定工場に指定
2011年	2月	太田工場保管のPCB（ポリ塩化ビフェニール）を無害化処理のため北海道に出荷
2011年	7月	環境報告書第6号発行
2011年	7月	太田工場が、GHG ^(注1) 関連データ算定方法の妥当性について一般財団法人日本海 事協会より検証声明書を受領
2011年	7月	各工場で電力削減協力を実施（夏季7～9月、冬季12～2月）
2012年	1月	新潟内燃機工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定
2012年	3月	I H I グループ環境活動の一環で、太田工場がエネルギー管理標準の評価 及び環境調査リハーサルを省エネルギーセンターにより受ける
2012年	7月	環境報告書第7号発行
2012年	12月	I H I グループとして今冬の節電対応実施
2013年	3月	I H I による第2回省エネ研修会開催

注1：GHG

Green House Gas 温室効果ガスのこと。

対流圏オゾン、二酸化炭素、メタンなどが該当する。

